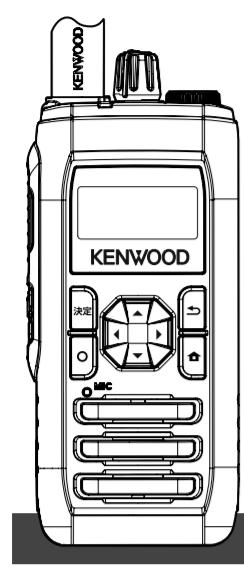


TCP-D751

UHFデジタル携帯無線電話装置

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。
本機は電波法令による無線局の免許を取得または登録をして使用する製品です。



株式会社 JVCケンウッド

BSA-2827-10 (J)

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

● 商品および商品の取扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
● 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覗いたくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル 0570-010-114
一部のIP電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は 045-450-8950
FAXを送信される場合は 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付日 月曜日～土曜日(祝祭日および弊社休日を除く)
受付時間 月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

電波法に関するご注意(つづき)

登録局運用時のご注意

- 登録状の範囲を超えた運用は電波法違反となりますのでご注意ください。
- 無線局の登録(包括登録の場合には開設の届出)をおこなわれますと、総務省より電波利用料の納入告知書が送付されて来ますので、納付期限内に電波利用料を納めてください。
- 登録局の有効期間は、登録の日から5年間です。再登録の申請は、登録の有効期間満了の3か月前から1か月までの期間内に手続きをおこなってください。
- 再登録をおこなわざに本機を使用しますと、「電波法第110条」により、「1年以下の懲役又は百万円以下の罰金」に処せられます。十分ご注意ください。
- その他、必要に応じて下記の手続きをおこなってください。
 - 登録状の記載事項に変更が生じる場合(再登録)
 - 登録状が破れたり、汚れたり、紛失した場合(再交付申請)
 - 登録状を廃止した場合(廃止届出)
- 申請および届出の手続き、工事設計の認証を受けたアンテナについては、お買い上げの販売店にお問合せください。

Bluetooth®機能について

本機背面に貼られているラベルに記載の、Bluetooth機能についての表示について説明します。



「2.4」 : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
「FH」 : 変調方式を表します(FHSS:周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。

「1」 : 想定干渉距離を表します(10 m 以下)。

「---」 : 全域帯を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth機能による電波干渉についてのご注意

本機のBluetooth機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetoothに使用される2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。

本機のBluetooth機能を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本機のBluetooth機能をONにする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など(以下「他の無線局」という)が運用されていないことをご確認ください。

● 万一、本機のBluetooth機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機のBluetooth機能をOFFにしたりうえで、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡いただき、混信回避の処置についてご相談ください。

ご使用の前に

説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上の注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上の補足事項が記載されています。

ご使用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害が発生することがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 本機を複数で使用する場合、近距離(約10 m以内)で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、電波妨害が発生することがあります。
- 通話のできる距離は地形や環境(天候や建物などの障害物)によって短くなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 通話のできる距離の目安は下記のとおりです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。
※送信出力5 W出力時
・市街地: 0.5 km ~ 1 km
・見通しのよい場所: 1 km ~ 4 km

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、下記の内容(表示と意味)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

△ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

△ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけることを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△ 危険

使用環境・条件

引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

運転しながら本機を操作(通信)するにはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作(通信)してください。

バッテリーパックの取扱について

バッテリーパックは下記のことをお守りいただけない場合、けがやバッテリーパックの漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

バッテリーパックを電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れないでください。

充電温度範囲は、5°C ~ 40°Cです。この温度範囲以外では充電しないでください。

指定以外の充電台では充電しないでください。

本機以外の機器に取付けないでください。

火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。

濡れた本機とバッテリーパックを充電しないでください。

火災や感電の原因となります。

端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

液が自に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

△ 警告

使用環境・条件

電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障、誤動作の原因となります。

空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での本機の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。

ご使用の前に(つづき)

免責事項について

本機の故障、誤動作などにより、利用の機会(通話など)を逸したために発生した障害などの付随的損害については、弊社は一切その責任を負いかねます。

音声圧縮(符号化)方式について

米国 DVS1 社に開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE-2™に対応しています。

The AMBE-2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within the Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,315,860, #8,595,002, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

防塵/防水性能について

本機はオプション接続端子の防水カバーを、隙間のないように正しく取り付ける状態で弊社指定のバッテリーパック(KNB-83L)を装着することにより、IPX8¹の防水性能と、IP6X²の防塵性能を有しています。

* 1 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1 m のところに無線機を静かに沈め、約2時間放置後に取り出したときに無線機との機能を有することを意味します。

* 2 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75 μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置を8時間入れてからほんの少しだけ取り出したときに無線機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

● 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

● 本機の防水性能は真水環境にてのみ性能を保証しております。塩水がかかる環境でのご使用は無線機の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。

● 水中の使用(各種操作キーの押下など)はIPX8の保証対象外となります。

● ナット付きのオプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けてからナットで固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミ(微細な繊維、髪の毛、砂など)を挟んでいないか、ご確認ください。

● 石鹼水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものをかけたり、浸けたりしないでください。また、高温の湯に湯けたり、かけたりしないでください。

● 本機の污水を落とす際は、水に浸したり、蛇口からの水や湯を直接当たりしないでください。

● 本機が濡れているときは防水カバーを開けないでください。

● オプション自体の防塵/防水性能はオプション製品により異なります。

● 充電台やACアダプターは防塵/防水仕様ではありません。本機が濡れている状態で使用しないでください。

● 本機に衝撃を与えた場合は、防塵/防水性能に影響を与える場合があります。

● 防水性能を維持するため、年に一度の定期点検(有償)をおすすめします。

本機の付属品

保証書.....1

取扱説明書(本書).....1

バッテリーパックについて

本機に使用できる充電式バッテリーパックは下記です。

• KNB-83L.....リチウムイオンバッテリーパック(1820 mAh)

バッテリーパックの特性について

● 充電放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。

● 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。

● 低温での充電時間は、室温時よりも長くなる場合があります。

● 高温状態で充電したり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。

● バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えてても使用できない場合は、一度充電してください。

● 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。

● 満充電しても使用時間が短くなってしまった場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電・放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

三和システムサービス株式会社

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-477 福島ビル3

TEL 048-653-2211 FAX 048-653-2217

! 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

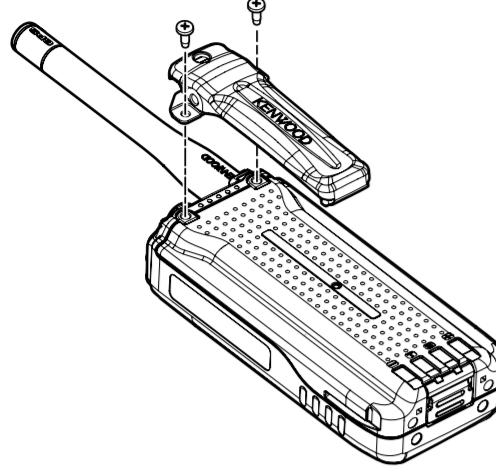
使用方法について

ご使用の前に(つづき)

- 必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
- プラグの差しこみが不十分の場合、電源を入れたときに警告音が鳴ります。
- 使用前に、オプション機器の取扱説明書をお読みください。
- オプションノブに記載している専用品を接続してください。専用品以外を接続すると誤動作や故障の原因になります。
- プラグを取り外すときは、プラグ部をしっかりと取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、故障の原因になります。
- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、イヤホンやマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。

ベルトフックの取り付け(別売品)

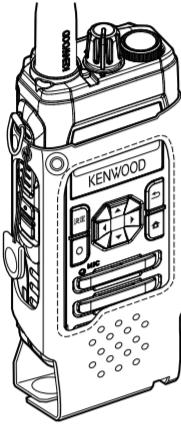
無線機本体のネジ穴とベルトフックを合わせて、取り付けます。ネジは必ずベルトクリップに付属のネジを使用し、ネジが緩まないようにしっかりと取り付けてください。



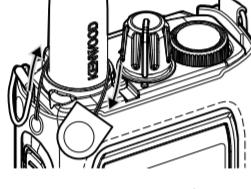
- ベルトフックの付属以外のネジを使用しないでください。
- ネジの緩みがないか時々確認してください。

ハードケース(別売品)の取り付け

1 無線機をハードケースの上面から挿入する



2 無線機のアンテナに抜け防止ひもを掛け、ホックをとめる



ハードケースを装着したまま充電することができます。
ハードケースの底面のホック2箇所を外し、ケースを開いて無線機を充電台に挿入してください。

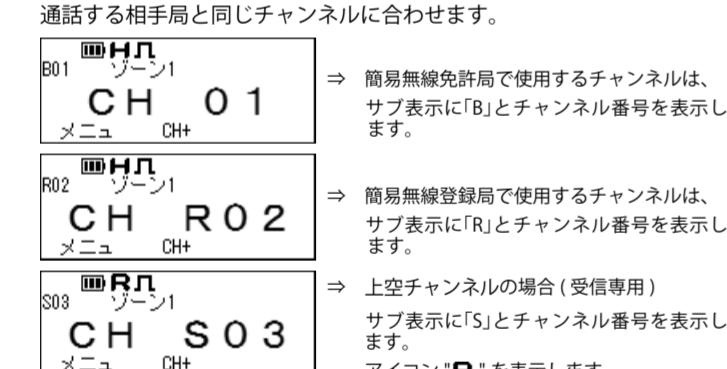
基本操作

通話する

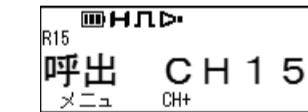
1 【電源/音量】を右(時計方向)に回して電源を入れる 「ピーッ」と鳴って電源が入ります。

2 【▲】/【▼】を押してチャンネルを合わせる

使用するチャンネルが決まっている場合
電話する相手局と同じチャンネルに合わせます。



登録局で使用するチャンネルが決まっていない場合
呼出15チャンネル(CH15)に合わせます。



呼出15チャンネル(CH15)は、不特定多数の人との通話を含め、一時的な呼出しチャンネルとなっており、継続的な通話の場合は、別のチャンネルに切り替えてから通話してください。

◆呼出チャンネル(CH15)ではユーザーコード(UC)を使ったグループ通話や秘話機能などを設定した通話ができませんので注意ください。

相手局の電波を受信すると、送受信LEDが緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

3 【電源/音量】を回す
右(時計方向)に回すと音量が大きく、左(反時計方向)に回すと音量が小さくなります。



4 【PTT】を押す

送信状態になり、送受信LEDが赤色に点灯します。

● 他に送信している無線局がないことを確認してから送信してください。(送信LEDの緑色が消していること)

◆ 免許局または登録局で使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。

◆ 免許局での通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください(非常通信など電波法で定める場合を除く)。

◆ 免許局と登録局では、電波法令上の運用条件が異なりますので、十分注意して運用をおこなってください。

5マイクロホンに向かって話す

【PTT】を押しながら話します。マイクロホンは口元から3~4cm程度離してください。【PTT】を離すと待受状態に戻ります。

◆大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。

6 相手の音を受信する

【PTT】を離すと待受状態になります。待受状態で相手が送信すると相手の音声が聞こえます。

7 通話をつづける

送信と、受信は交互におこないます。

相手の通話を終わらせてから、【PTT】を押して送信してください。

8 【電源/音量】を左(反時計方向)に回して電源を切る

【電源/音量】を「カチッ」という音がするまで左(反時計方向)に回します。

使用後は、電源を切ってください。



- ◆ストラップを持って無線機を振り回さないでください。故障やけがの原因となります。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

- KNB-83L リチウムイオンバッテリーパック(1820mAh)
- KSC-51LCR 連絡充電台
- KSC-45LSL ACアダプター(6連対応)
- KMC-55スピーカーマイクロホン(防水)「IP67」
- EMC-13 イヤホン付きクリップマイクロホン(インナーイヤータイプ、ライトユース)
- EMC-14 イヤホン付きクリップマイクロホン(耳掛けタイプ、ライトユース)
- EMC-15 イヤホン付きクリップマイクロホン(イヤーハンガー付き)
- EMC-16 イヤホン付きクリップマイクロホン(イヤーハンガー、PFキー付き)
- KHS-37 ヘッドセット(耳掛けタイプ、ライトユース)
- KEP-6 イヤホン(イヤーハンガー付き)
- KBH-10 ベルトフック(幅広タイプ)「50mm幅対応」
- KBH-20 ベルトフック
- KBH-21 ベルトフック(幅広ロングタイプ)「50mm幅対応」
- KLU-213 ハードケース
- KSB-1 ショルダーベルト
- KRA-23 アンテナ(UHFヘルカルショート)「免許局対応」
- KRA-27B アンテナ(UHFホイップ)「免許局対応」
- KRA-46 アンテナ(GPS付きヘリカル)「免許局+登録局対応」
- KRA-44G アンテナ(GPS付きヘリカル)「一般業務無線350MHz帯+登録局対応」

「一般業務無線350MHz帯+登録局対応」

◆本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了することがあります。オプションについてはカタログなどをご覧ください。

仕様

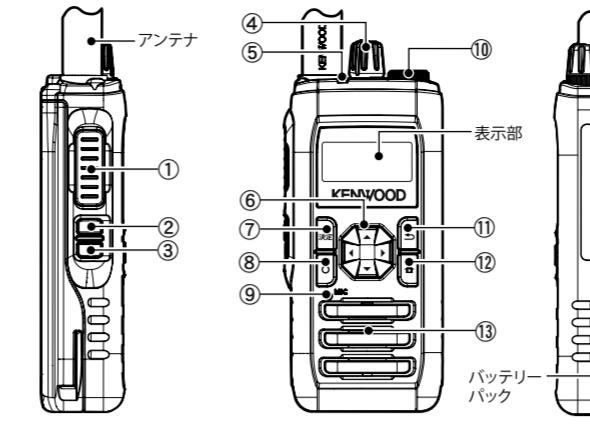
用途	一般業務無線機	簡易無線機
機種名	TCP-D751	TCP-D751CT
型式名	TCP-D751FT	TCP-D751CT
周波数範囲	350-470 MHz	免許局(3B)運用時 UHF帯 65 ch 登録局(3R)運用時 許可された351 MHz帯 免許局(3B)+登録局(3R)運用時 3B: UHF帯 65 ch 3R: 許可された351 MHz帯
変調方式	4 値 FSK (デジタル) FM (アナログ)	4 値 FSK
電波型式	F1D/F1E/F1F F3E/F2D	F1D/F1E/F1F
送信出力	5W/4W/1W	
使用電源	DC7.4V ± 10%	
内蔵スピーカー出力	700mW(10%歪み)	
外形寸法 (突起物含まず)	幅:56x高さ:123x奥行:29.8 mm(KNB-83L 使用時)	
外形寸法 (突起物含む)	幅:58.4x高さ:137x奥行:31.7 mm(KNB-83L 使用時)	
質量	約 300 g (バッテリー、アンテナ、ベルトフック含む)	
アンテナ端子	SMA-P	
防塵・防水性能	IP54/55/67/68	

*仕様は予告なく変更することがあります。

*本製品は種別コード3Bおよび3Rの無線機です。

各部の名称と機能

操作キー/ツマミ



①【PTT】スイッチ

押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。

②【サイド1】キー

ユーザーコードが解除されます。

③【サイド2】キー

バックライトが動作します。

④【電源/音量】ツマミ

電源ON/OFF、および音量調節をします。

⑤送受信LED

送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。

⑥【▲/▼/◀/▶】アップ/ダウン/ LEFT/ RIGHTキー

アップ: チャンネルアップが動作します。

ダウン: チャンネルダウンが動作します。

⑦【決定】メニューキー

押すとメニュー画面に入ります。

長く押すとキーロック機能が動作します。

⑧【O】ファンクションキー

出荷時は機能が設定されていません。

⑨マイクロホン

⑩外部マイクロホン端子(防水カバー)

⑪【S】バックキー

出荷時は機能が設定されていません。

⑫【H】ホームキー

出荷時は機能が設定されていません。

⑬スピーカー

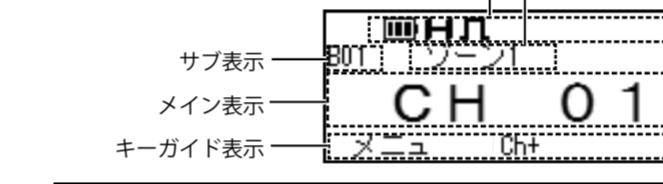
受信音声を出力します。

◆各キー動作機能は出荷時の設定です。販売店でのオプション設定により、動作機能は変更できます。

表示部(簡易無線機での運用モードでの表示)

補助領域表示

アイコン表示



サブ表示

メイン表示

キーガイド表示

表示エリア

説明

アイコン表示 設定された機能の動作をアイコンで表示します。

メイン表示 チャンネル番号やメッセージなどを表示します。

サブ表示 免許局、登録局のチャンネル番号などを表示します。

補助領域表示 設定された機能の補助的内容を表示します。

キーガイド表示 [決定] [▲] [▼] キーを押すと起動する機能を表示部の下側に表示します。

※表示されるキーガイドは無線機の状態で異なります。

機能アイコン一覧

アイコン

説明

	受信している電波の強さを表示します。
	バッテリー容量の残量を表示します。
	送信出力が5Wに設定されているときに点灯します。
	送信出力が4Wに設定されているときに点灯します。
	送信専用チャンネルに設定されているときに点灯します。
	PTTホールド機能が設定されているときに表示します。
	スキャン中に点灯します。スキャンが一時停止中は点滅します。
	オートチャンネルセレクト機能がONのときに表示します。
	セカンドPTT機能がONのときに表示します。
	セカンドチャンネルを表示しているときは点滅します。
	メッセージの受信履歴(スタックデータ)を表示します。
	点灯: 受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅: 受信履歴に未読のメッセージがあります。
	優先チャンネル1が設定されているときに点灯します。
	優先チャンネル2が設定されているときに点灯します。
	選択しているチャンネルがスキャンの対象ゾーンであると点灯します。
	メッセージの受信履歴(スタックデータ)を表示します。
	点灯: 受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅: 受信履歴に未読のメッセージがあります。
	オートチャンネルセレクト機能がONのときに表示します。
	セカンドPTT機能がONのときに表示します。
	セカンドチャンネルを表示しているときに点滅します。
	モニター機能がONのときに表示します。
	Bluetooth機能がONのときに点灯します。処理中は点滅します。
	Bluetooth機器と接続中に点灯します。
	サイレントアラーム機能が設定されているときに表示します。
	点滅: サイレントアラーム機能による音声ミュート状態に表示します。
	点灯: 音声ミュートをキー操作で解除したときに表示します。
	音量アッテネート機能がONのときに表示します。